

新聞記事に見る デジタルアーカイブ

東京大学大学院情報学環

時実 象一



- 「デジタルアーカイブ」という日本語は東京大学工学部の月尾嘉男教授 (当時) が1990年代半ばに初めて提唱したとされる[1]
- 「デジタルアーカイブ」という語の新聞記事での初出は1996年3月11日の読売の記事「文化財の国際赤十字構想座談会 注目のデジタル保存術」

– 画家の平山郁夫、月尾嘉男教授、東京芸術大学の内山昭太郎教授、富士通会長の山本卓真氏が参加

- その直後の1996年4月10日には、同じ読売で「デジタルアーカイブ推進協議会が発足 文化遺産をデジタル映像で保存・活用」報道



- 新聞記事における「デジタルアーカイブ」の記載の調査は、社会での「デジタルアーカイブ」の実践動向や認識度を知らうえで有用
- 調査対象
 - 朝日新聞の「聞蔵」(1985年～2021年10月25日)
 - 読売新聞の「ヨミダス歴史館」(1986年～2021年10月24日)
- 検索語「デジタル」「アーカイブ」のAND
 - 検索結果全件983件に目を通して判別



拾った記事例

ヨミダス歴史館 読売新聞 2021年9月1日 朝刊 33 ページ

国立映画アーカイブ（東京都）と国立情報学研究所（同）は、1923年9月1日に発生した関東大震災の被害と復興の様子を撮影した記録映画が見られるウェブサイトを「関東大震災映像デジタルアーカイブ」を1日に開設する。

同震災の記録映画は、発
1直後から文部省（当時）
の口下にあった映画会社な
どが製作、震災の惨状を伝
え、義捐金を募るなどの目
的で、各地で上映された
言われる。記録映画は当時
の資料としては稀なものだが
残っている。同サイトで
は国立映画アーカイブが手
集める約100本をアップした

映画が語る 関東大震災



海関連の蔵書豊富に

須崎市が2026年春にオープン予定の複合施設「海のまち図書館」（仮称）の基本計画の素案が7日、市への取材でわかった。港町の特徴を生かし、

[illegible]

電子図書の貸し出しや、郷土資料を集めてデジタルアーカイブ化する事業にも取り組む。



よみほっと YOMI HOT

ニッポン

絵
ものがたり

* きのこマンダラ

20度に温度が保たれた標本室に入ると、ひんやりとした森の空気をどこかに感じた。筑波山の南裾にある国立科学博物館筑波実験植物園（茨城県つくば市）。整然と並ぶキャビネットの中に、博物学者、南方熊楠が約40年かけ紀伊半島のきのこを集めて記録した4千数百点の「菌類図譜」が眠っている。

「菌類図譜」は国立科学博物館などによって画像や文字情報のデジタル化が進められ、今年、その一部が「南方熊楠デジタルアーカイブ」として公開が始まった。



除いた記事

- 以下の記事は集計から除いた
 - デジタルアーカイブを参照しているだけのもの
 - [大阪 面影さがし](41)長堀 龍馬や弥太郎も歩いたか(連載)
 - 論評、社説、インタビュー、寄稿など
 - 作品の自由な流通、進める改革を 福井健策弁護士

同一内容が他の版に掲載されているもの

- 県などの予算記事で、予算項目としてデジタルアーカイブが記載されているもの



参照の例

2021/10/29 10:21

読売新聞記事切り抜き紙面

ヨミダス歴史館 読売新聞 2021年9月18日 朝刊 26 ページ [大阪]

東京大学附属図書館 2021年10月29日10:21



江戸時代の観光案内書「摂津名所図会」の「猪名川」には川で漁をする人や俵を運ぶ牛が描かれ、茶店には相撲取りたちが休む。店先に「花相撲」と書いた紙が見え、相撲興行があったらしい。猪名川が流れる池田は「能勢街道」

大阪 面影さがし

⑫ 猪名川



「巡礼道」「西国街道」が交差し、米や炭、果物などが集まる要衝の地だ。相撲興行がしばしば行われたとの記録も残る。

明和4年（1767年）

相撲興行



論評の例

東京大学附属図書館 2023年3月23日 13:58

日経新聞 読者新聞 2023年4月8日 夕刊 03ページ

1945年5月26日の撮影という。日米の激戦が続く沖縄への出撃を前に、子犬を抱く少年兵を中心に微笑む特攻隊員たち。先の大戦や特攻に関心のある人なら、目にすることがあるかもしれない。渡辺英徳東大教授は先月26日、人工知能（AI）でカラー化したこの写真を元の白黒写真と共にツイッターに投稿した。隊員の表情を、より生き生きと伝えるカラー化写真に「色の持つ力はすごい」というコメントも寄せられた。被爆した広島や長崎のデジタルアーカイブなどを作ってきた渡辺さんは、戦時下など「過去の今日」の写真の投稿を日課としている。「記憶の解凍」と呼ぶこの取り組みに、カラー化写真を通じて過去



論説委員
鳥山 忠志

先端技術で伝える記憶

を身近に感えてほしい。AIが、できるわけ者の証言な元の色に近戦争体験る。今春、進学した庭代、渡辺さんが保存するし、対話をする活動を続カラー化験者も忘れみがえるこ2人は戦ど、これまで収めた本のる。戦後75年戦争の記憶



インタビューの例

朝日新聞 2020年2月19日 朝刊 13ページ 東京本社

ネットに信頼を再び

インタビュー

ウソ流す政治家に デジタル図書館で データ分析し対抗

20年以上にわたり、ウェブ上のあらゆる情報を収集・保存しているデジタル図書館がある。創設者は、インターネットの草創期を担い、「ネットの歴史」にも名を連ねるブリュースター・ケールさん（図）。ネットは物心ともに世界を豊かにする一方、市民の分析も招いている。「ポスト真実の時代」における活動の意義を聞いた。

——いまやネット上の情報は、何が本当で、何がウソかわからなくなっているように感じます。

「1988年からネットの世界に関わってきました。当初のネットは、人々が直接情報をやりとりし、どうやって車を修理したらいいかを尋ねたり、調べものをしたりする」という空間でした。そして、ウェブのコンテンツは、ほとんどが無償で作られていました。いまも動くネット百科事典のウィキペディアは、その好例です。ネットは、信頼がなくても人は動くのかを試す仕掛けであった。それが成り立ったのは、『信頼』という価値があったからです」

「しかし、40年近く経ったいま、ネット空間は、企業がインターネットエンジンにお金を投じて都合の良い情報を拡散させたり、政治家が自らの利益のためにウソを垂れ流したりする場所になってしまった。かつてとはほど遠い。こんな世界になるとは、想定していませんでした」

8千のカテゴリに分け、自動的に巡回して保存します。集める情報の基準は、世界の約800億個・約1千人の図書館蔵書とほぼ同じで、アクセス数の多いものや要約の多いもの、マニフェストになっている事象などを優先します」

「大事件や大事故が起きた場合には関連サイトやSNSを頻りに保存します。今年1月に起きたウクライナ機撃墜事件では、何が起きたのか情報が交錯しており、関連情報を重点的に記録しました。ウェブページは平均100日以内で内容が変わるとされます。なかには、意図的に削除されたり、改ざんされたりするものも多くある。すべてを保存し続けば、後から過去を検証することもできます」

——2011年の東日本大震災では、日本の国立国会図書館とも連携したそうですね。

「震災当時、テレビはもとよりネット上では被災地の写真や動画、救助を求めるツイート、家族を捜すサイトまで大量の情報がやりとりのされていました。そこで、

インターネットアーカイブ創設者

Brewster Kahle

ブリュースター・ケール さん



予算記事など

八戸市補正予算案 震災復興に7億円

八戸市は29日、市議会9月定例会に提出する一般会計補正予算案（13億4999万円）を発表した。うち、東日本大震災の復興関連費が7億8864万円。

主な内容は、種差海岸の天然芝生地前に建設する休憩所の工事費7400万円、八戸を舞台にした小説「ライアの祈り」の映画化で製作支援実行委負担金2000万円など。

復興関連では、三沢市、おいらせ町、階上町と共同で震災関連資料を収集・デジタル化する地域防災情報アーカイブ基盤共同構築事業に1億3133万円、多賀地区多目的運動場（仮称）の用地測量や基本設計に7192万円などを計上する。定例会は9月3日開会。

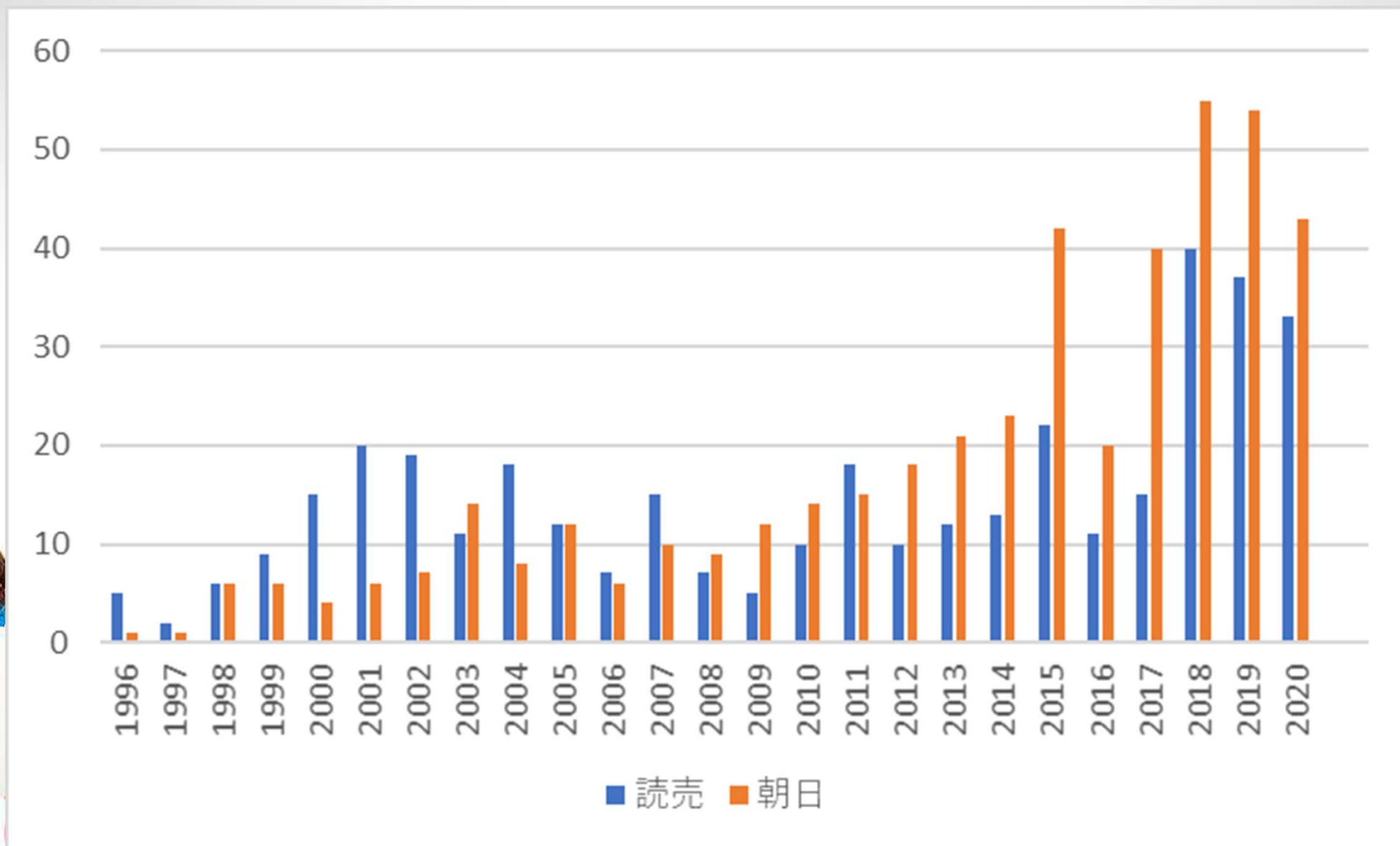


• 検索結果

	聞蔵	ヨミダス歴史館
検索ヒット数	490件	393件
参照、論評、重複除去後	401件	315件

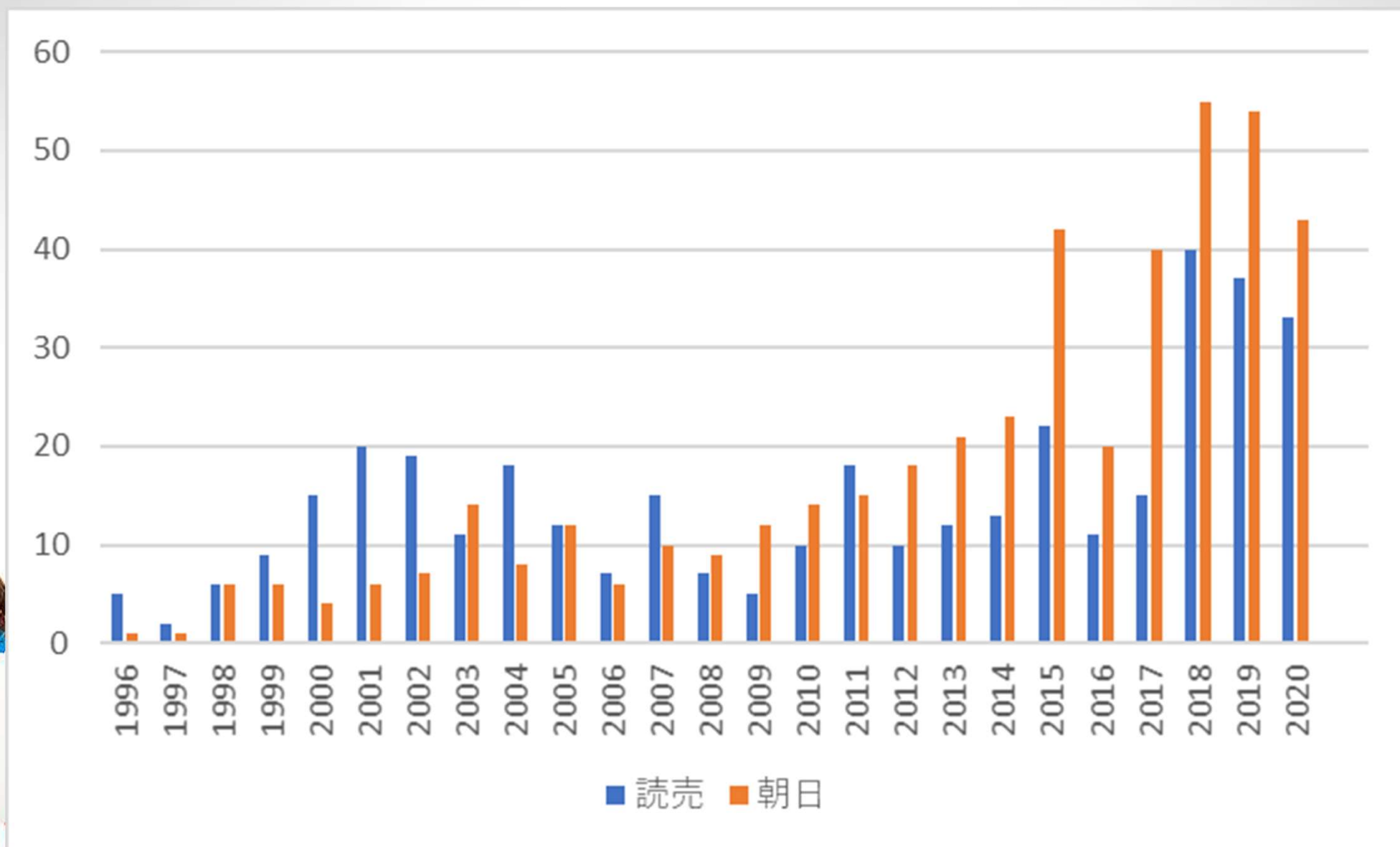


デジタルアーカイブに関する新聞記事数



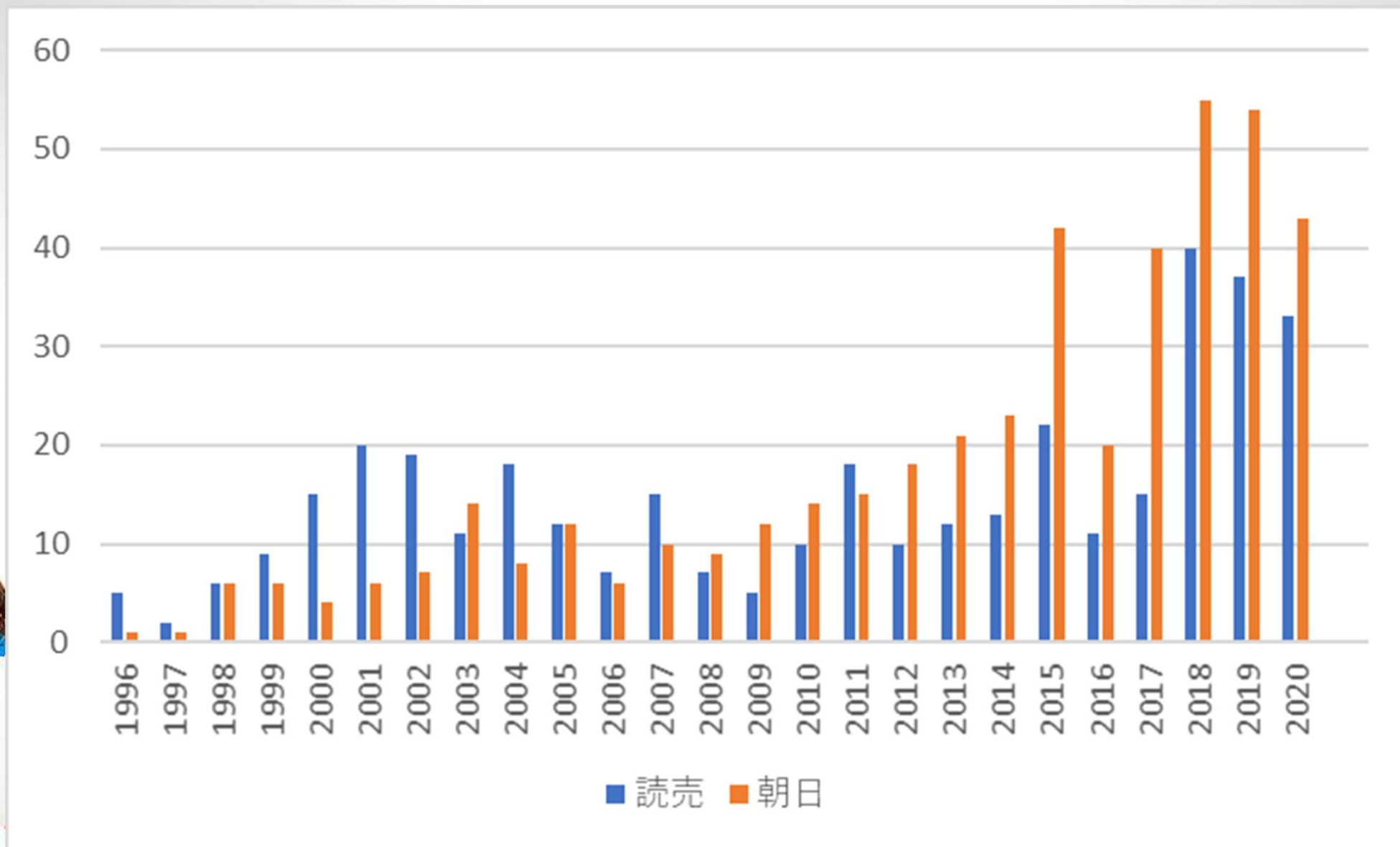
• 1996-04-09 デジタルアーカイブ推進協議会発足

デジタルアーカイブに関する新聞記事数



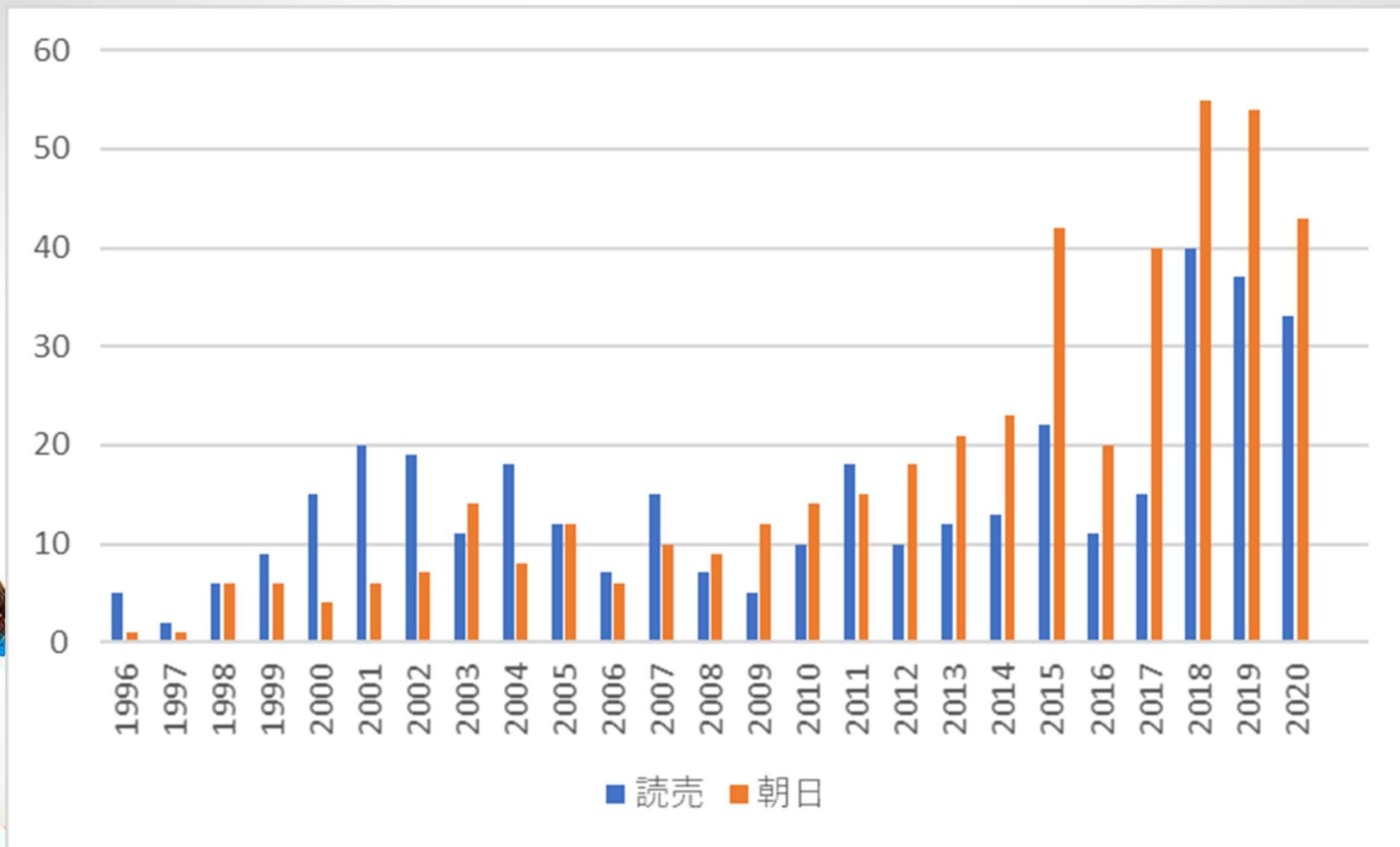
- 2011-03-11 東日本大震災

デジタルアーカイブに関する新聞記事数



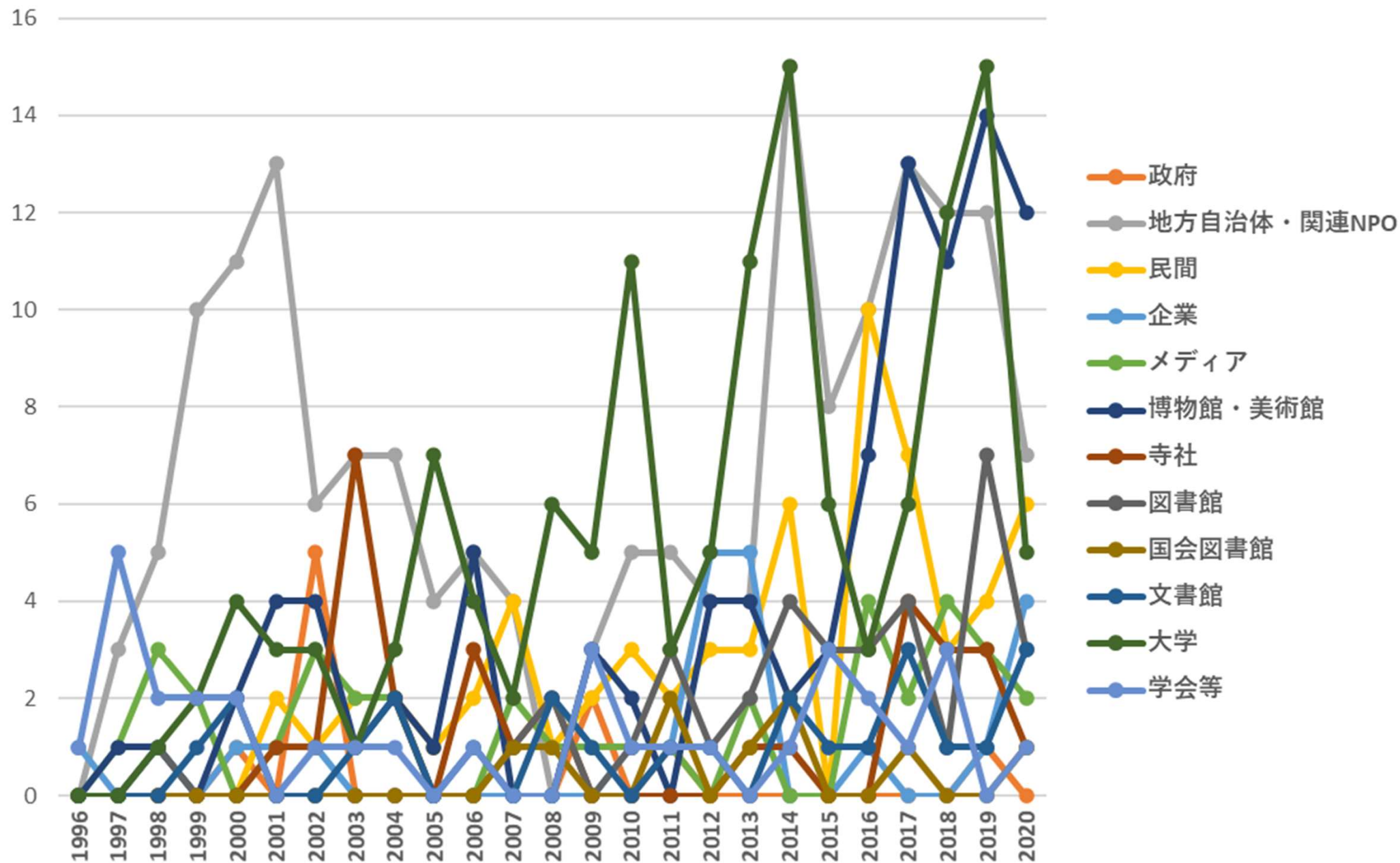
- 2003-02 NHKアーカイブス発足

デジタルアーカイブに関する新聞記事数

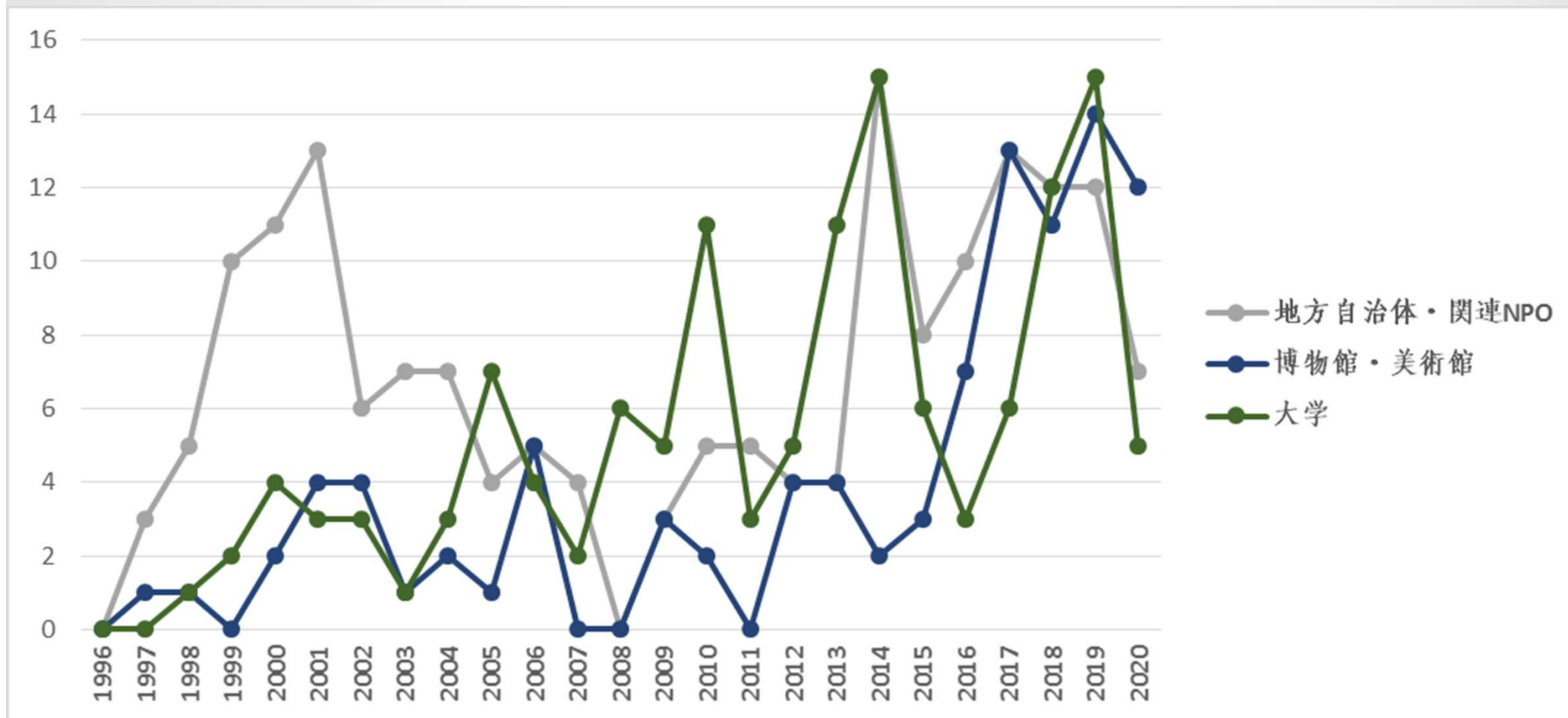


- 2017-05-01 デジタルアーカイブ学会発足

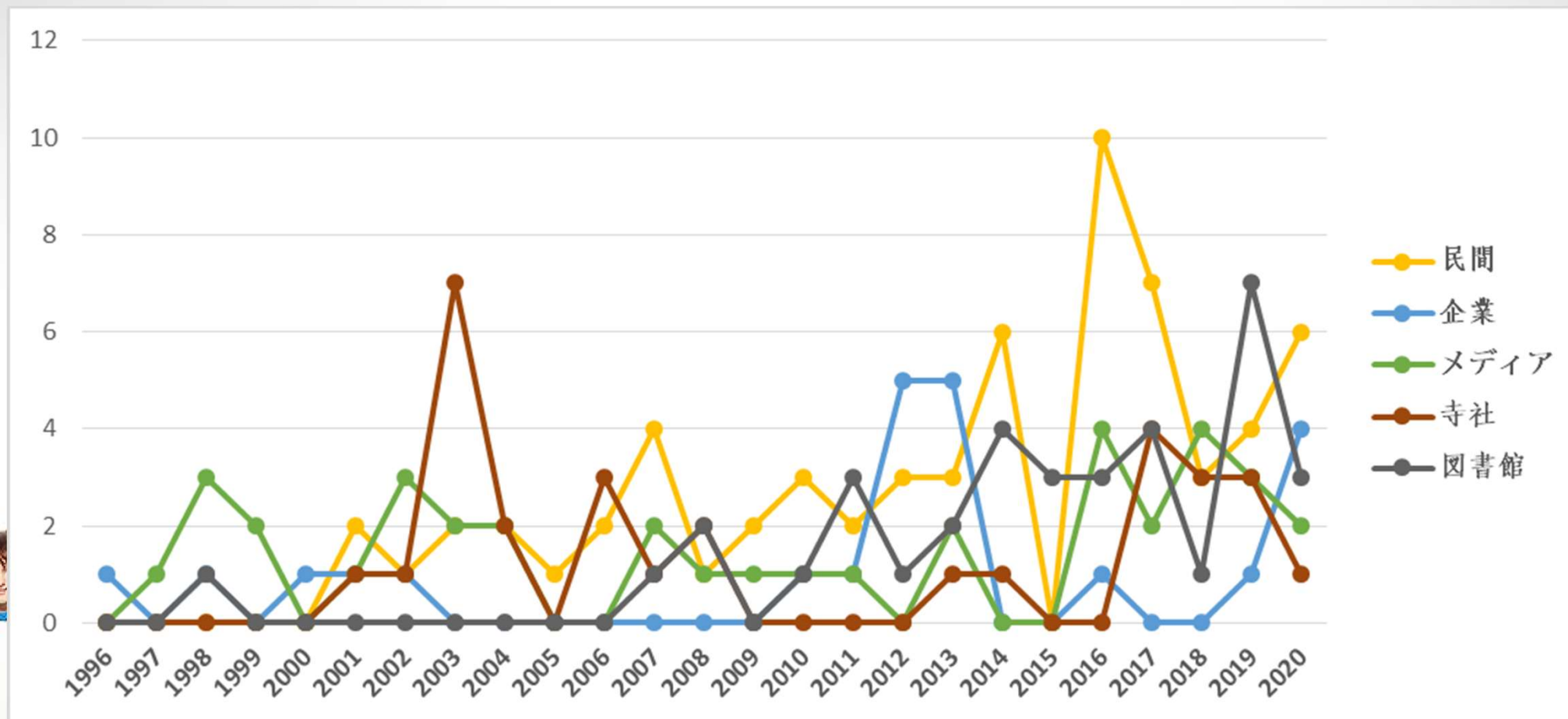
デジタルアーカイブの構築主体



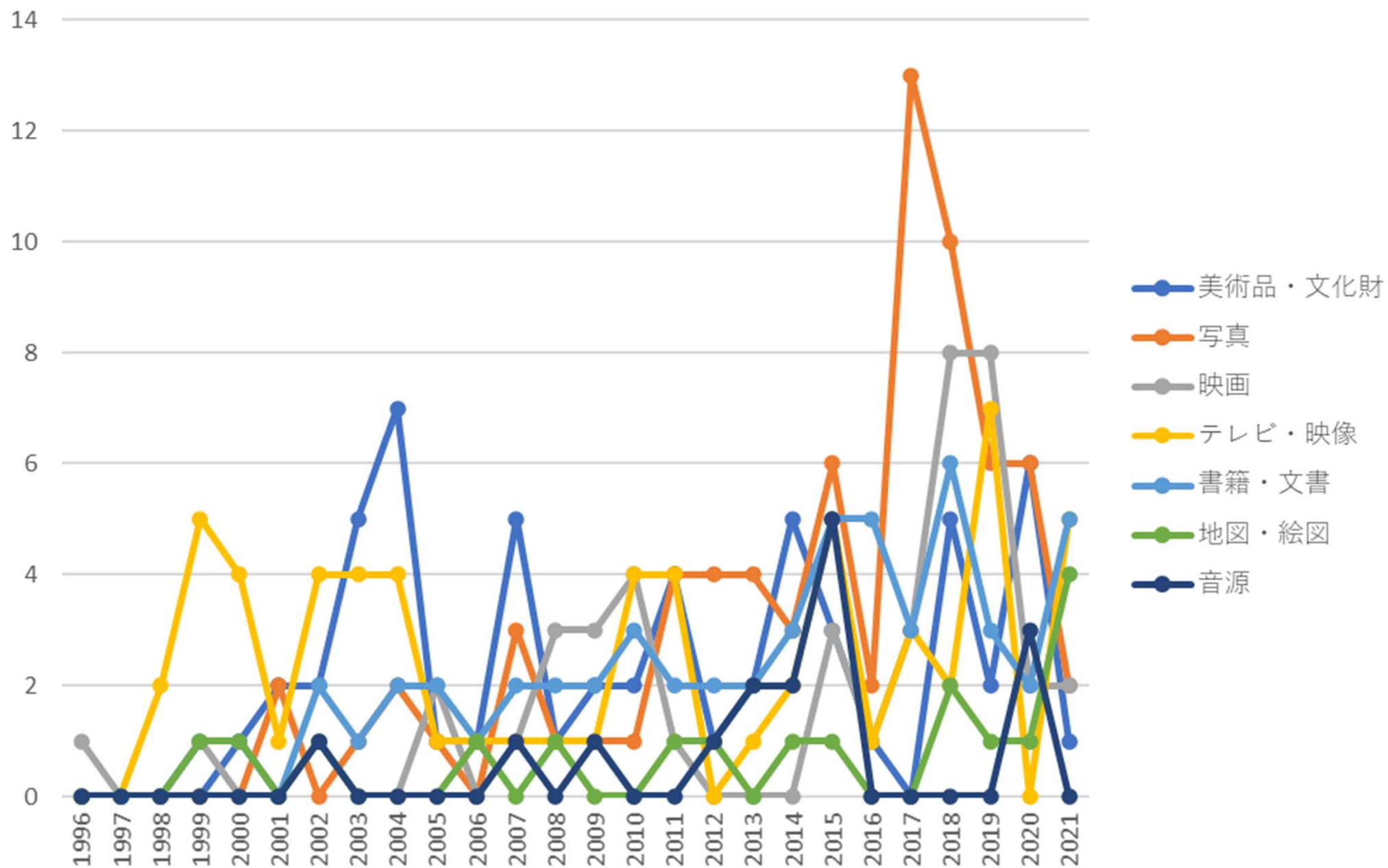
デジタルアーカイブの構築主体



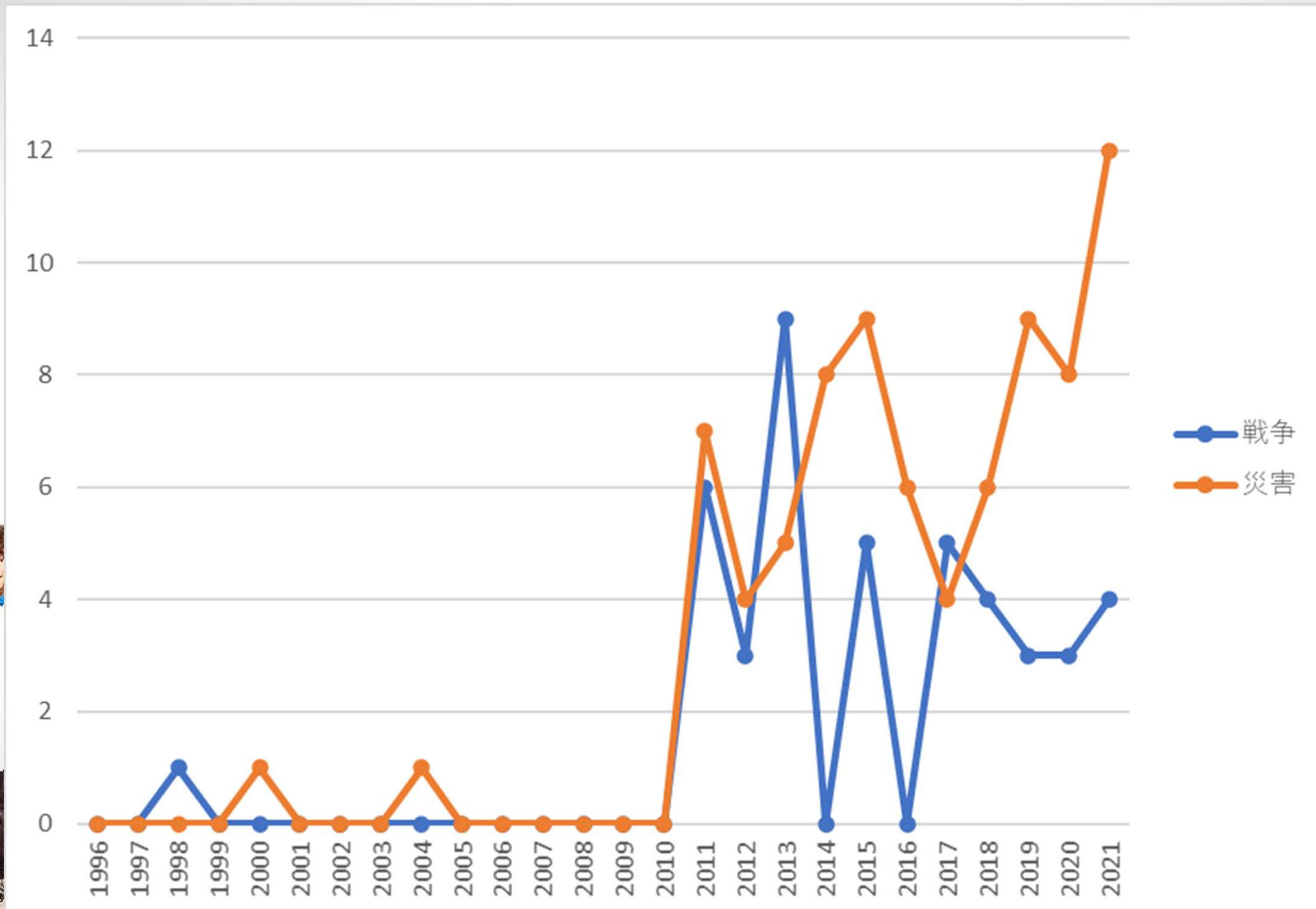
デジタルアーカイブの構築主体



デジタルアーカイブの種別



戦争・災害をテーマとするデジタル アーカイブ



まとめ

- 新聞記事は歴史の記録として重要
- 同時に世間の関心を反映している
- 記事の傾向
 - 初期は政府が後押しした「デジタルアーカイブ推進協議会」関連記事
 - 最近では東日本大震災をきっかけとする震災関連アーカイブの記事
 - 地方の記者の興味を引いて取材されている地域アーカイブ
- デジタルアーカイブが世間で一定の関心を集めていることが明らかになった。

